

やわらぎの手帳優遇措置事業 に関する意見（抜粋）

（平成25年度実施）

（バスカード・イコカカード）

《 目 次 》

- P 1 . . . やわらぎの手帳優遇措置事業（バスカードとイコカカード）に関する意見募集結果
- P 3 . . . バスカード・イコカカードとも廃止の意見
- P 4 . . . バスカード制度改正に賛成・イコカカード廃止に賛成の意見
- P 6 . . . バスカード制度改正に賛成・イコカカード廃止に賛成の意見
- P 7 . . . バスカード制度改正をさらに進める・イコカカード廃止に賛成の意見
- P 8 . . . バスカード制度改正に賛成・イコカカード廃止に賛成の意見
- P 9 . . . バスカードとイコカカードの一本化の意見
- P 10 . . . バスカードは定額にする・イコカカードは廃止せず現状維持の意見
- P 11 . . . バスカードに上限を設ける・イコカカードの廃止には反対の意見
- P 12 . . . バスカード制度改正に賛成・イコカカードを継続すべきの意見
- P 13 . . . イコカカードは継続の意見

やわらぎの手帳優遇措置事業(バスカードとイコカカード)に関する意見募集結果

＜意見提出人数＞ 71人

＜男女内訳＞

男性	48人	67.6%
女性	23人	32.4%

＜年齢内訳＞

60歳未満	12人	16.9%
60～69歳	24人	33.8%
70歳以上	35人	49.3%

＜地区別＞

久度	15件	21.2%
王寺	3件	4.2%
舟戸	4件	5.6%
葛下	6件	8.5%
本町	17件	23.9%
元町	2件	2.8%
畠田	14件	19.8%
明神	4件	5.6%
太子	4件	5.6%
南元町	2件	2.8%

「やわらぎの手帳優遇措置事業」に関する意見募集を平成25年12月にパブリックコメントを実施し11名の方から回答
平成26年1月に民生児童委員、自治会長、老人会長にアンケートをお願いし60名の方から回答

集計結果の概要

＜バスカード＞

- ・上限を設ける、乗車時の一部負担を設ける等の見直しを行った上で、継続を希望
74件(74%)
- ・バスカードを廃止する等との回答が26件(26%)

＜イコカカード＞

- ・イコカの今までの金額や受給年齢の見直しを行った上、等での継続希望が
47件(67%)
- ・本人確認が出来ない、目的外使用による制度上の問題等廃止の回答23件(33%)

(別紙)

意見集計

バス			
継続	上限を設ける(1万円等)	30	} 62件(84%)
	乗車時一部負担(100円等)	24	
	上限を設ける(イコカと同額にして)	7	
	上限を設ける(システムの導入)	1	
	バスのみにして	4	
	今の制度で	3	
	受給年齢の引き上げ(70歳→75歳等)	3	
	発行時一部負担(3千円～5千円)	2	
	計	74	
廃止	イコカに統一	16	
	廃止して別の事業に	2	
	上限を設けて段階的に	2	
	今すぐ廃止	5	
	近い将来廃止	1	
	計	26	

合計: 100件

イコカ		
継続	イコカに統一	17
	今の制度で	17
	金額引き下げ(8千円→5千円等)	9
	金額引き上げ(8千円→1万円)	2
	受給年齢の引き上げ(70歳→75歳等)	2
	計	47
廃止	廃止(制度上問題がある等)	14
	バスに統一	4
	廃止して別の事業に	2
	金額を落として段階的に	2
	近い将来廃止	1
	計	23

合計: 70件

* 回答は、重複回答があります。

■やわらぎの手帳優遇措置事業(バスカードとイコカカード)に関する意見■

氏名	(ふりがな) [REDACTED] [REDACTED]
住所	王寺町 [REDACTED]
年齢	83歳
性別	男
ご意見	<p><u>バスカードについて</u></p> <p>年間1人当たり3万5千円、年37万円を超える乗車があるとは驚きです。高齢者が引きこもらず戸外へ出かけ心と体の健康を高めるためのカードである筈のものが本来の目的を逸脱するような利用のされ方では、この制度は近い将来<u>廃止</u>の方向に持って行くべきではないでしょうか。</p> <p><u>イコカカードについて</u></p> <p>久度地区の住民にとっては、バスカードの利用度が少ない実情から、利用度の高い南地区との公平性を討つための制度としてイコカカードが配布されたものと理解していますが、その利用が目的外で使用されている状況を踏まえ、バスカード廃止と同様イコカカードも<u>廃止</u>の方向に持って行くべきものと思料します。</p>

※記入欄が不足する場合には、別の紙を添付し、ご記入ください。

平井町長

先日は、民生委員の定例会で講話をいただきありがとうございました。その時、話に出ました「バスカードとイコカカード」に関しての私見を述べさせていただきます。

まず、バスカードですが、やはり一部負担をお願いすべきだと思います。税金で負担しているにも拘らず使わなければ損だとばかりの高額の利用は止めていただきたい。少しでも自己負担があれば、このような非常識な使い方はなくなると思います。利用する人と利用しない人の差が大きすぎます。明神 3 丁目の上の方にお住いの高齢者で、足がお悪いため、駅へ行くのはもちろん集会所へ行くのもタクシーを利用される方がおられます。折角、バスカードをもらっても利用されたことはありません。

30 万を超えるほどバスを利用されるのは、それだけお元気な証拠で喜ばしいことかもしれませんが、税金の無駄遣いでしょう。また、高齢者を優遇しすぎるのもいかがなものでしょうか。長年、教員をされて 90 歳をだいぶ過ぎた知り合いのおばあさんは年金をたくさん貰っておられます。30 代後半で妻と子ども二人抱えた彼女の孫よりも収入が多いのではないのでしょうか。我々の若い頃に比べ、今の若い人たちは本当にお気の毒です。

バスを利用する機会が多い美しヶ丘の住民の皆さんは、生活するには十分な収入を確保されていると思います。ぜひ、バス代の一部を負担してもらってください。

また、町長は他の市町村のように町営の循環バスを用意するのも一つの方法だとおっしゃっていましたが、これは反対です。バスに乗ると時間帯によっては乗客のほとんどが高齢者です。バスカードがなくなり循環バスが運行するようになると、ただでさえ利用が少ないバスの乗客がますます減少し、奈良交通は路線バスの運行を止めざるをえなくなります。そうすると車を運転しない人は困りますし、環境の面からもバスの運行は続けていただきたい。奈良交通も空気を運ぶより、高齢者に乗ってもらいたいでしょう。

ぜひ、一部自己負担でバスカードは残してください。

次にイコカカードについてですが、こちらは廃止されたほうがいいと思います。イコカカードについての噂話を聞く度に、人間の欲望は際限がないものだとつくづく感じます。最初、イコカカードをもらって喜んでいたら、金額が少ないと言いだし、値上げしてもらおうと、今度は、バスカードは際限なく利用できるのにイコカカードは 8000 円しか利用できないと不満をもらします。発展途上国の支援もそうですが、もらった時は嬉しいけど、やがて貰うのが当然となり、貰えなくなると不満を言いだします。単に渡すだけでは、当人のためにはなりません。

駅周辺の方々はバスの利用する機会が少ないので不公平だということからイコカカードの配布が始まったのでしょう。しかし、王寺町の税金で賄うのだから王寺町内での移動に使うべきでしょう。大阪へ行って買い物するために税金を使うのは理に適っていないような気がします。私の友人は久度地区に住んでいますが、バスカードをもらっています。畠田公園でのもくもくウォーキングに参加する時バスに乗ってきます。文化福祉センターでのシルバー学級に参加するためにバスを利用する人もいます。このように王寺町内で高齢

者が出席したくなる場所をたくさん作ってバスカードを使ってもらいましょう。

高齢者が気軽に出かけられるようにとバスカードを渡されているのに、イコカードを渡すのは趣旨がずれているような気がします。

以上です。拙文、失礼しました。

王寺町

63歳

■やわらぎの手帳優遇措置事業(バスカードとイコカカード)に関する意見■

氏名	(ふりがな) [REDACTED]
住所	玉音町 [REDACTED]
年齢	70才 (69才)
性別	女
ご意見	<p>1. バスカードについて</p> <p>(1) 本来健康維持を保つため及外出を目的のカードである為、片道は走っていて、帰りはバスに乗ると云う方法を考へると一番良いと思ひます。</p> <p>(2) 何時でも何回でも乗れると云う事である為、実際は一区内での使用されていす可。</p> <p>(3) <u>乗るたびに</u>カード提示して <u>100円本人負担</u>を可事か望ましい。</p> <p>2. イコカカードについて</p> <p>(1) 使用せずためて買物に使う(ビール等)</p> <p>(2) <u>廃止されるもよい</u>と思ひます。</p>

※記入欄が不足する場合には、別の紙を添付し、ご記入ください。

やすらぎ手帳優遇措置事業アンケート

* バスカード

交換の時 3000～5000 円徴収する

70 歳ではまだ若い 75 歳ぐらいが良い

利用上限きめては

* イコカード

必要ない (息子が使ってる人もいる)

王寺町

72 歳

やわらぎの手帳優遇措置事業についての私見

私も数年前からやわらぎ手帳バスカードを使わせていただいています。住居が町最南部に有るため、町役場や図書館等の町中央部に行く時に月2.3度程度利用しています。表題についての意見募集に応じて意見を述べさせていただきます。

意見 やすらぎバスカードを一部利用者負担とし、イコカカードを廃止すべきです

理由

まずこの優遇事業の目的を考えてみる事が必要です。

第1に 町民の交流の活性化です。町民が町域内を活発に行き来して町全体の活性を図る環境を整える事は 町政の大切な仕事のひとつです。そのためには町民の移動手段の確保が必要です。この目的でコミュニティバスを運行している地方自治体も多く有ります。

第2に、当町は国道に沿って南北に長く、役所などの町の主要施設が北部に集中しています。当然、周辺部の町民は中央部に比して不便な（不公平な）立場におかれることになります。この不公平さの解消としてコミュニティバスの代替にバスカードがあります。

第3に コミュニティバスのような経済的にも物理的にも簡便な移動手段を整えることは、車運転困難者や普段出歩くことの少ない人（高齢者や障害者）への外出への動機付けになります。高齢者が活発に活動することは、結果的に高齢者医療費の節減効果がある事は良く知られています。

このように、町内コミュニティ活性のための町民移動手段の確保は町政にとって大切な事項であり、多くの自治体でコミュニティバス運行や代替手段としてのバスなどの公共交通の利用などの便宜を図っている所以です。当王寺町もこのような理念の下にバスカードの運用を図ってきたものだとおもいます。

現在、当町はやすらぎ手帳優遇処置事業として高齢者へのバスカードとイコカカードの配布を行っています。

しかしながらこれには問題があります。

1、バスカードの無制限な利用は過剰福利サービスです。これによって必要度が低いにもかかわらず頻発に利用したり、時には日常通勤に使用するなど趣旨に反する事が成され、福利厚生費の過剰な支出になっています。また不利用者の不公平感もここから生まれています。一部の有料化（たとえば一乗車当り小額金額を引き落とすなど）を実施すべきと考えます。

■やわらぎの手帳優遇措置事業(バスカードとイコカカード)に関する意見■

氏名	(ふりがな) [Redacted]
住所	玉寺町 [Redacted]
年齢	71
性別	男
ご意見	<p>高齢者対策として本事業は実施すべきである。事業の目的を達成するには、この方法が良いと思われる。</p> <p>バスカードとイコカカードを一本化すれば良いのではないか。</p>

※記入欄が不足する場合には、別の紙を添付し、ご記入ください。

★やわらぎの手帳優遇措置事業に関する意見。

氏名： ██████████

住所： 王寺町 ██████████

年齢： 66歳 、 性別： 男

意見

カード廃止には反対、見直しは必要である。

4月から消費税率の改定があり、イコカカードについては現状維持

配布については現在も有資格者本人に書類等で確認、直接手渡しをされていると思いますがより厳しく、不正受給、不正使用（買い物）しない旨の誓約書の提出、行った場合資格停止処分を課す。



バスカードについて、1,000円×12か月＝12,000円の支給、又は奈良市方式、
経費の掛からない方の採用。

■やわらぎの手帳優遇措置事業(バスカードとイコカカード)に関する意見■

氏名	(ふりがな) [Redacted]
住所	五苓町 [Redacted]
年齢	75才
性別	男
ご意見	<p>① <u>バスカード</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <u>使用限度額を</u>設定可也。 ・ <u>使用時(即ち、四支払い)の</u>も 赤字の一部分と見う(ある程度 より制効果のありと見う) <p>② <u>イコカカード</u></p> <p>外出以外使用する場合は、<u>本人の</u> モラルの問題であり、<u>廃止</u>の <u>反対</u>です。</p>

※記入欄が不足する場合には、別の紙を添付し、ご記入ください。

■やわらぎの手帳優遇措置事業(バスカードとイコカカード)に関する意見■

氏名	(ふりがな) 
住所	王寺町 
年齢	66歳
性別	男
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢者の引きこりを防止し、外出を支援する主旨には賛同します。 ○ バス停から遠い方、利用区間が短い等でバス利用しにくい方も有ると思われ、このためバスカードのみでは不公平感が出るのではなかろうか！ <u>イコカ選択制</u>は、この意味で良いと思っております。 <u>(継続すべき)</u> ○ <u>バスカードは「利用時一部負担」</u>でよい。 ○ イコカカードは現状のままでよい。 (事業の本来の主旨から外れた使用の可能性は) 否定できませんが。

※記入欄が不足する場合には、別の紙を添付し、ご記入ください。

送信者: [REDACTED]
宛先: "王寺町 介護福祉課" <ojikaigo@lint.ne.jp>
送信日時: 2013年12月9日 19:37
件名: イコカードについて

王寺町福祉介護課 福祉係

イコカードについて

私は「イコカード」を利用させて頂いている者ですが、先ずは今後も継続したい。
王寺町が数々推進している福祉政策、特に年寄に対する方策は他の町には無い物と認識し、年寄を大切にする町政であると思う。
歳を重ねると次第に出不精になり、家に籠りがちです。これはどこの年寄にも言える事だと思います。また年々増える認知症予防には頭を使い、運動する事は必要であり、かつ自分が関わる環境の外と関わることもその効果が大きいと言われます。
その外界と接する機会の一の方策として鉄道を使って町外に出る事でしょう。JRにしても近鉄にしてもちょっと乗るにも費用が嵩みます。
その助けとして町が推進しているイコカードは大きな費用援助となっています。本当に助かります。町の財政も大変でしょうが今後もぜひ継続願います。欲を言えばもう少し額を増やして頂ければと思いますが。

追記: 今はJRも近鉄も奈良交通も一枚のイコカードで利用できますから「バスカード」とか「イコカード」とかの区別の必要性はないように思いますが。

H25. 12. 9

[REDACTED]

71歳 男

[REDACTED]
